

評価対象年度	令和3年度	<h1>政策評価シート</h1>	政策番号	2	
政策推進の基本方向	富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進		政策名称	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる	政策担当 部局
			評価担当 課室	富県宮城推進室	

## 政策目標

時代の変化に対応し、新しい価値を創出できる産業人材の育成や事業承継、企業の経営支援に取り組みます。また、空港や港湾、道路や農地などの産業基盤の機能強化や東北各県との広域連携の推進など、県内産業の持続的な発展を担うヒト・モノの育成、活躍を促進します。

## 政策に対する県民意識調査の結果

県民意識	重視度	令和3年度	80.7% 6位/8政策	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度	-		
	満足度	令和3年度	43.7% 3位/8政策	令和4年度	-	令和5年度	-	令和6年度	-		
	本政策において優先すべきと思うテーマ			R3		R4		R5		R6	
				割合	順位	割合	順位	割合	順位	割合	順位
	①県内への就職・就業の促進と産業人材の育成			25.0%	1位	-	-	-	-	-	-
	②誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備			21.5%	2位	-	-	-	-	-	-
	③学び直しやリカレント教育の振興			5.8%	7位	-	-	-	-	-	-
	④創業や経営力強化の支援			7.5%	6位	-	-	-	-	-	-
	⑤生産・物流・交流基盤の機能強化			21.5%	2位	-	-	-	-	-	-
⑥産業基盤の有効活用			10.6%	4位	-	-	-	-	-	-	
⑦東北のゲートウェイ機能の強化			8.2%	5位	-	-	-	-	-	-	

## 政策を構成する施策の成果及び評価(原案)

番号	施策の名称と成果の検証	施策評価の原案
4	時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備	概ね順調
	本施策は、現時点では達成率が低い目標指標があるものの、県民が優先すべきと思う「県内への就職・就業の促進と産業人材の育成」や「誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備」に係る取組を継続的に行うことにより、一定の成果をあげていることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	
5	時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用	概ね順調
	県民が重視する空港や港湾・漁港、道路、農地、森林等を始めとする産業基盤の整備についても一定の進捗が認められることに加え、東北をはじめとする広域連携について確実に実績を積み上げており、ポストコロナに向けた圏域内経済や交流の活性化の基盤が形成されてきていることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。	

政策課題と対応方針	
政策課題	課題解決に向けた対応方針
2-1 先進的技術を活用した地域経済の発展と社会課題の解決	2-1 ・優れた技術や製品を有する県内中小企業を、地域の中核となる企業へ育成するための支援 ・新事業への進出やデジタル技術を活用した生産性向上などに積極的に取り組むリーダー育成への支援 ・女性や高齢者を含む様々な人材が柔軟で多様な働き方を選択できる社会の実現に向け、関係機関と連携した県内企業の働き方改革の推進
2-2 宮城の産業を牽引する人材の創出・育成と環境の整備	2-2 ・ものづくり産業の人材育成・確保に向け、今後立地予定の企業も含めた県内企業の認知度向上や採用力向上のためのセミナー、工場見学会の開催及び県内の小中高生向け動画や高校生向け広報誌の発行・配布等の取組の推進 ・新型コロナウイルス感染症収束後のコンテナ貨物の増大等を見据え、仙台塩釜港(仙台港区)における新たな大水深岸壁や空コンテナゲート等の整備促進などによる高砂コンテナターミナルの拡張整備の推進

政策目標に対する成果の検証	<p>本政策では、産業人材の育成や働く環境の整備について、技術者研修やキャリアアップに向けた人材育成施策が展開されたほか、働き方改革の促進により、県内企業の魅力ある職場の環境整備が図られた。また、円滑な事業承継や企業の経営支援等といった取組も行われており、概ね順調に進んでいる。</p> <p>空港や港湾・漁港、道路、農地、森林等を始めとする産業基盤の機能強化についても一定の進捗が見られたほか、東北各県との広域連携についても、ポストコロナに向けた圏域内経済や交流の活性化の基盤が形成されるなど概ね順調に進んでいる。</p> <p>以上のとおり、県民が重視する産業人材の育成、働く環境の整備、産業基盤の機能強化の取組が概ね順調に進んでいるため、政策全体では「概ね順調」と評価する。</p>
成果の検証を踏まえた評価原案	概ね順調

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

# 施策評価シート

政策	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる
----	----------------------------------

施策番号	4	施策名	時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備
------	---	-----	-----------------------------

施策担当課室	産業人材対策課
--------	---------

目指す宮城の姿(施策目標)	<p>①幼少期から、地域を支える幅広い産業(仕事)を身近に感じ、変化する環境に柔軟に対応できる能力を身に付けた若者が、宮城で働き、安定した収入を得て、地域に根付いて暮らしています。</p> <p>②様々な人が、子育てや介護といったライフステージを経ながらも、自らのキャリアプランを持ち、いつでも学び、いきいきと働くことができる環境が整備されています。また、企業も国内外から人材を呼び込み、「働く人の多様性」を生かしたビジネスにより、新しい価値を創出し、地域産業の活性化に結び付けています。</p> <p>③個人や企業が、就業や創業、新分野進出、事業承継といった形で市場ニーズへの対応や地域課題の解決を実現することで、産業のイノベーションと新陳代謝が図られ、地域産業の持続可能性が高まっています。</p>
---------------	---

実現に向けた方向性	<p>◇教育機関と産業界が連携し、多様な場面で子どもたちが地域の産業に触れる機会を創出しながら、県内での就職・就業や定着を促進するとともに、デジタル化の進展や今後の技術の急速な進歩、普及に対応できる高度な専門性や創造性などを身に付けた産業人材を育成します。</p> <p>◇女性や高齢者等が様々な制約がある中でも柔軟に働き続けることができる環境の整備や、高度外国人材など働く人の多様性を活用した事業展開、企業の事業継続力の強化の支援などに取り組み、企業の経営リスクの回避と新たなビジネスチャンスの創出を促進します。</p> <p>◇必要な時に必要な能力を身に付け、生涯働くことを通じて社会で活躍できるよう、高等教育機関や行政、産業界などが連携し、学びなおしなどの教育システムやキャリアアップに向けた体制整備、利用拡大を進めます。</p> <p>◇創業や制度資金、人材の確保・育成、円滑な事業承継など、事業アイデアの実現や経営力の強化に向けた多様な支援制度の充実を図ります。</p>
-----------	--

決算(見込)額(千円)	年度	令和3年度(決算(見込)額)	令和4年度(決算(見込)額)	令和5年度(決算(見込)額)	令和6年度(決算(見込)額)
	県事業費	99,306,292千円			

目標指標		達成状況 (達成率は初期値から目標値までの進捗割合を示したものの)			
		初期値 (設定年度)	実績値 (測定年度)	目標値 (令和6年度)	達成率
21	就業率(%)	60.1% (令和元年)	60.0% (令和3年)	62.0%	-5.3%
22	高校生の県内製造業就職率(%)	32.6% (平成30年度)	34.7% (令和2年度)	35.0%	87.5%
23	第一次産業における新規就業者数(農業)(人)	158人 (令和元年度)	174人 (令和2年度)	160人	800.0%
24	第一次産業における新規就業者数(水産業)(人)	35人 (令和元年度)	31人 (令和3年度)	43人	-50.0%
25	第一次産業における新規就業者数(林業)(人)	48人 (令和元年度)	42人 (令和3年度)	88人	-15.0%
26	所定外労働時間数(時間)	10.2時間 (令和元年度)	9.5時間 (令和3年度)	8.7時間	46.7%
27	年次有給休暇の取得日数(日)	8.5日 (令和元年度)	9.6日 (令和3年度)	10.1日	68.8%
28	キャリアアップに向けた人材育成等を目的としたプログラム推進件数(件)	59件 (令和2年度)	58件 (令和3年度)	62件	-33.3%
29	開業率(%)	3.6% (令和元年度)	3.7% (令和3年度)	4.8%	8.3%
30	認定農業者数(経営体)	6,279経営体 (令和元年度)	6,026経営体 (令和2年度)	6,300経営体	-1,204.8%

施策の成果の検証				
県民意識	本政策において優先すべきと思うテーマ	①県内への就職・就業の促進と産業人材の育成	25.0%	1位
		②誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備	21.5%	2位
		③学び直しやリカレント教育の振興	5.8%	7位
		④創業や経営力強化の支援	7.5%	6位
施策の成果	<p>◇県内の職業別有効求人倍率は、事務的職業の有効求人倍率が0.49倍である一方、建設・採掘は4倍超、生産工程の職業においては2倍超であり、職種による需給ミスマッチが見られる。</p> <p>◇IT技術者育成研修(参加者91人)を開催したことで、IT人材等の高度化が図られた。</p> <p>◇熟練技能者が高校生延べ3,900人に対し技術指導等を実施したことで、ものづくり人材の育成につながった。</p> <p>◇第一次産業の担い手を育成・確保するため、就業相談・実践教育・訓練等を実施したところ、新規就農者が目標の160人を上回る174人となった。</p> <p>◇女性や高齢者等の多様な人材の活躍を促進するため、県内4カ所の就職支援拠点を設置し、求職者向けセミナーなど各種就職支援の実施により、本拠点の利用者のうち566人が県内で就職した。</p> <p>◇県内企業における働き方改革を促進するため、オンラインセミナーを6回開催し、働き方改革宣言企業36社の登録、実践企業21社の認証につながった。</p> <p>◇創業を希望する事業者への補助や相談対応等により、創業とその後の事業継続を支援したほか、事業承継診断3,371件等を実施し、円滑な事業承継に向けた支援を行った。</p>			

施策を推進する上での課題と対応方針	
施策の課題	課題解決に向けた対応方針
<p>・生産年齢人口の減少や職種による労働力の需給ミスマッチが見られる中、企業の持続的な成長を支える人材の確保が求められていることから、高度な専門性等を持つ人材の育成や県内定着を促進する必要がある。</p> <p>・少子高齢化や職業人生の長期化が進展する中、女性や高齢者等の潜在的労働力の活用を図る必要がある。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の低迷により、創業、業態転換や事業承継が困難となっている。</p>	<p>・富県宮城の実現に向けて県内産業の持続的な成長を促進するため、生産現場等を支える人材やデジタル化の進展等に対応できる人材育成を推進していくほか、県内定着に向けて企業の雇用環境の整備や魅力的な企業情報を発信する。</p> <p>・一人ひとりの希望や能力、価値観等に応じた多様な働き方の選択ができ、誰もが活躍できるよう訓練等による能力開発や就職支援を図る。</p> <p>・個人や企業の創業、円滑な事業承継などを促進するため、経営力強化や生産性向上等の取組により、引き続き支援の充実を図る。</p>

施策目標に対する成果の検証	目指す宮城の姿に対する成果		項目ごとの評価
	①地域を支える産業への就業に向けた様々な取組により新規就業者数は概ね順調に推移しているが、就業率については新型コロナウイルス感染症の影響もあり、微減となっていることから、若者も含めた多様な人材の県内就職に向けた継続的な取組が必要である。		概ね順調
	②様々な人を対象にキャリアアップに向けた人材育成施策が展開されているほか、働き方改革の促進により、県内企業の魅力ある職場の環境整備が図られている。また、UIターンによる起業や創業相談などの支援により、地域産業の新しい価値の創出に繋がっている。		概ね順調
	③就業や創業、新分野進出、円滑な事業承継といった市場ニーズへの対応や地域課題の解決に向けた多様な取組により、人材の確保や経営力の強化等、県内産業の持続可能性向上の下支えにつながっている。		概ね順調
<b>【評価のまとめ】</b>			
本施策は、現時点では達成率が低い目標指標があるものの、県民が優先すべきと思う「県内への就職・就業の促進と産業人材の育成」や「誰もが柔軟に働き続けるための環境の整備」に係る取組を継続的に行うことにより、一定の成果をあげていることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。			
成果の検証を踏まえた評価原案		概ね順調	

時代と地域が求める産業人材の育成と活躍できる環境の整備

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算額 (千円)	事業概要及び実績
1	デジタルみやぎ推進事業	企画部	デジタルみやぎ推進課	9,955	<p>事業概要 地域課題を解決する5Gを活用した実証モデル事業</p> <p>事業実績 新たな情報通信基盤である5G技術を活用し地域課題を解決するセミナーを4圏域で開催(82人参加)したほか、5G利活用実証実験計画策定支援を実施する2事業体を選定(応募件数15件)し、計画策定を支援した。</p>
2	蛻変プロジェクト	経済商工観光部	富県宮城推進室	509	<p>事業概要 地域産業の賑わい創出支援</p> <p>事業実績 蔵王町遠刈田地区、大崎市鳴子温泉、栗原市六日町商店街を重点的に支援するモデル地域とし、現地視察、ワークショップ、ヒアリング、先進地視察等を行い、地域の担い手人材の掘り起こしや熱量を上げる取組を実施した。</p>
3	IT人材採用・育成支援事業	経済商工観光部	産業デジタル推進課	24,822	<p>事業概要 高度IT人材の確保・育成支援</p> <p>事業実績 県内IT企業の採用者及び中核人材向けのIT技術者育成研修を実施(参加者:前者6社13人、後者34社78人)した。人材獲得競争が激化する中、下請け構造からの脱却、競争力を備えた企業への成長が期待される。</p>
4	中小企業金融対策事業	経済商工観光部	商工金融課	97,498,000	<p>事業概要 融資枠設定</p> <p>事業実績 県制度融資の新規融資実績は4,898件、921億円となり、県内中小企業者の資金調達の円滑化につながった。</p>
5	宮城県信用保証協会経営基盤強化対策事業	経済商工観光部	商工金融課	886	<p>事業概要 保証料助成</p> <p>事業実績 県制度融資4件について保証料軽減に伴う宮城県信用保証協会の減収分について補助した。信用保証料の事業者負担を軽減することで、対象事業者の設備投資を促すなど、県内産業の振興につながった。</p>
6	県中小企業支援センター事業	経済商工観光部	中小企業支援室	196,119	<p>事業概要 中小企業等の創業・経営革新、取引支援等</p> <p>事業実績 窓口相談(1,403件)や専門家派遣(26社88回)を通じ、県内中小企業の経営革新・販路拡大等の支援を実施した。また、取引あっせん(1,142件)活動をとおし、125件の成立を確認した。</p>
7	スタートアップ加速化支援事業	経済商工観光部	中小企業支援室	71,448	<p>事業概要 県内創業者・第二創業者への助成</p> <p>事業実績 県内での創業を希望する44人(新規:21人、継続:23人)への補助をすることにより創業につなげるとともに、創業後も伴走的な支援をすることで事業継続をサポートした。</p>
8	みやぎ創業推進支援事業	経済商工観光部	中小企業支援室	9,425	<p>事業概要 首都圏での創業相談窓口の設置等</p> <p>事業実績 創業相談対応(延べ89件)、創業希望者向けセミナー開催(延べ196人参加)、ケースメソッド作成等の支援により5人が創業した。また、市町村創業支援ネットワーク会議を開催(2回)し関係機関の連携強化に努めた。</p>
9	みやぎUIJターン起業支援事業	経済商工観光部	中小企業支援室	16,910	<p>事業概要 地域課題解決に向けた起業家への支援</p> <p>事業実績 UIJターン起業家5者へ補助をすることにより移住、創業につなげるとともに、創業後も伴走的な支援をすることで事業継続をサポートした。</p>
10	移住支援金求人広告作成支援事業	経済商工観光部	雇用対策課	10,584	<p>事業概要 移住支援金対象法人の求人広告の作成支援等</p> <p>事業実績 移住支援金対象法人の広告作成支援のため、企業訪問等による求人開拓等を行い、新規求人獲得件数133件となり、企業の人材確保につながった。</p>

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算額 (千円)	事業概要及び実績
11	新事業創出支援事業	経済商工観光部	中小企業支援室	19,000	<p>事業概要 新商品・新サービスの研究・開発への助成</p> <p>事業実績 地域資源や優れたビジネスアイデアを活かした新商品・研究開発を行う13社に対して助成を行い、米菓商品の新技術開発等を支援した。</p>
12	生産現場改善強化支援事業	経済商工観光部	中小企業支援室	36,367	<p>事業概要 ものづくり中小企業の生産性向上等の支援</p> <p>事業実績 生産現場の生産性改善支援のため、専門家派遣11社、生産性向上設備導入等支援10社、現場改善セミナーの開催2回を実施した。</p>
13	事業承継支援体制強化事業	経済商工観光部	中小企業支援室	12,500	<p>事業概要 事業承継支援機関のネットワーク化等</p> <p>事業実績 事業承継ネットワーク機関において、県内中小企業・小規模事業者の円滑な事業承継を支援するため、事業承継診断3,371件、相談ヒアリング678件、専門家派遣230件、事業計画計画策定416件を実施した。</p>
14	小規模事業者伴走型支援体制強化事業	経済商工観光部	中小企業支援室	10,206	<p>事業概要 商工会等の伴走型支援体制強化への助成</p> <p>事業実績 小規模事業者への経営計画策定及び販路開拓等諸課題の解決支援のため、計画策定支援(セミナー開催41件、個別指導272件)、販路開拓支援1件を実施した。</p>
15	水産加工業競争力強化支援事業	経済商工観光部	中小企業支援室	47,813	<p>事業概要 水産加工業の支援体制整備等への助成</p> <p>事業実績 水産加工業の経営課題の解決、人材育成、生産性向上のため、専門家派遣26社73回、企業力強化・成長支援4社、生産性改善支援16件、企業連携活動促進事業(7グループ)を実施した。</p>
16	産業人材育成プラットフォーム推進事業	経済商工観光部	産業人材対策課	961	<p>事業概要 産学官による人材育成プラットフォームの運営等</p> <p>事業実績 全県版プラットフォームでは人材育成施策の情報共有や意見交換を行ったほか、圏域版プラットフォームでは会議16回、関連事業35件を実施するなど、多様な人材育成施策の推進につながった。</p>
17	ものづくり人材育成確保対策事業	経済商工観光部	産業人材対策課	22,682	<p>事業概要 ものづくり人材育成、企業の認知度向上等</p> <p>事業実績 工場見学会(受入企業延べ29社、学生等608人)の開催や広報誌の発行、熟練技能者の現場指導(協力企業延べ143社、学生延べ3,900人)等により、企業の認知度向上や魅力の発信、ものづくり人材の育成が図られた。</p>
18	みやぎdeインターンシップ事業	経済商工観光部	産業人材対策課	16,667	<p>事業概要 首都圏等大学生の県内企業での就業体験の促進</p> <p>事業実績 大学生等の県内ものづくり企業へのインターンシップの実施(延べ149人参加)により、企業の認知度向上や県内就職の促進につながった。また、参加学生16人に交通費等を助成し、学生のインターンシップ参加を促進した。</p>
19	課題解決型インターンシップ推進事業	経済商工観光部	産業人材対策課	5,374	<p>事業概要 理工系学生を対象とした課題解決型インターンシップの実施</p> <p>事業実績 ものづくり企業の人材育成等が課題となっているため、高専生等30人が参加したインターンシップの受入企業17社に対して指導に係る人件費等を助成し、即戦力となる中核的な人材育成と企業の認知度向上につながった。</p>
20	社会人との対話によるキャリア発達支援事業	経済商工観光部	産業人材対策課	12,887	<p>事業概要 児童・生徒を対象としたキャリア教育の実施</p> <p>事業実績 児童・生徒の発達段階に応じたキャリア形成支援の充実を図るため、小学生向けプログラムに延べ421人、中高生向けプログラムに延べ570人が参加し、職業観や勤労観の醸成につながった。</p>

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算額 (千円)	事業概要及び実績
21	みやぎ学生×企業コ ミュ活事業	経済商工観 光部	産業人材対 策課	7,202	事業概要 大学生を対象としたWEBセミナー及び学生と企業の交 流事業 事業実績 県内就職に目を向けてもらうため、みやぎ業界研究WEB セミナー(学生延べ42人,企業8社)や学生と企業の交流 イベント(学生延べ75人,企業24社)により,企業の認知度 向上につながった。
22	働き方改革促進事業	経済商工観 光部	雇用対策課	6,639	事業概要 県内企業における働き方改革の促進 事業実績 県内企業の魅力ある職場づくりのために,セミナーを6回 開催し(108人参加),働き方改革宣言企業の登録,実践 企業の認証につながった。登録数:宣言企業36社,実践 企業21社(令和4年3月末現在)
23	UIJターン学生等就職 支援拠点運営事業	経済商工観 光部	雇用対策課	24,967	事業概要 UIJターン希望学生への就職支援拠点の設置 事業実績 首都圏等の学生のUIJターン就職を促進するため,東京 及び仙台に相談窓口を設置し,登録件数235人,相談件 数1,079件となり,59人の県内就職につながった。
24	学生UIJターン支援事 業	経済商工観 光部	雇用対策課	10,065	事業概要 UIJターン希望学生への就職活動の交通費助成 事業実績 県内企業へのUIJターン就職を促進するため,県外学生 が県内で就職活動を行う際に負担した交通費及び宿泊 費の一部を62人に補助し,10人の県内就職につなが った。
25	プロフェッショナル人材 戦略拠点運営事業	経済商工観 光部	雇用対策課	57,005	事業概要 プロフェッショナル人材の戦略拠点の設置・運営 事業実績 地域と企業の成長戦略を実現するため,企業経営や新規 事業の企画等の知識経験を有するプロフェッショナル人 材と県内企業とのマッチングを支援し,246件の成約と なった。
26	宮城UIJターン助成金 事業	経済商工観 光部	雇用対策課	29,556	事業概要 県外プロフェッショナル人材受入に係る助成 事業実績 プロフェッショナル人材のUIJターン就職を促進するため, 中小企業がプロフェッショナル人材を受け入れる際に民 間人材紹介会社に支払う紹介手数料の一部を助成し, 18人の成約につながった。
27	みやぎ人財活躍推進プ ロジェクト	経済商工観 光部	雇用対策課	139,754	事業概要 みやぎ人財活躍応援センターの設置・運営等 事業実績 多様な人材の活躍を推進するため,就職支援拠点を設置 し各種支援を実施し,566人の就職につながったほか,地 域企業を牽引するフラグシップ企業の育成に向けた17社 の伴走支援により職場環境の改善につながった。
28	地域を守る,集落営農 モデル支援事業	農政部	農業振興課	8,000	事業概要 集落営農組織の体質強化に向けた支援 事業実績 地域農業の維持発展を支える担い手を育成するため,集 落営農組織等3組織を選定し,法人化に向けた伴走型の 支援を行ったことで,集落営農組織の体質強化が図られ た。
29	農林水産金融対策事 業(農業)	農政部	農業振興課	103,625	事業概要 農林水産業金融支援 事業実績 生産物価格低迷,原油価格高騰,新型コロナウイルス等 に対する支援策で低利の資金を設け利子補給を行い農 業者の経営安定を支援した。主な融資実績:農業近代化 資金126件,960,870千円(融資額)
30	新たな農業担い手育成 プロジェクト	農政部	農業振興課	255,129	事業概要 新規就農者確保育成支援 事業実績 就農相談(129件)や農業次世代人材投資資金の交付 (152件),農業大学校での実践教育等を実施し,令和2 年度新規就農者数は目標を上回る174人となり,青年農 業者の確保・育成が図られた。

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算額 (千円)	事業概要及び実績
31	農業経営者総合サポート事業	農政部	農業振興課	8,891	事業概要 農業経営相談所による法人化、経営課題解決への支援 事業実績 重点指導農業者80経営体を対象に農業経営の法人化や経営継承等に対する伴走型支援を実施し、経営課題解決等が図られた。また、集落営農組織等の法人化支援を実施し6法人が設立された。
32	農業経営高度化支援事業	農政部	農村整備課	409,618	事業概要 認定農業者等への農用地集積促進 事業実績 農地整備事業実施地区(49地区)において農地の利用集積を図るための会議及び研修会等を実施した。 農地集積会議:開催実績63回(計画48回)
33	農林水産金融対策事業(水産業)	水産林政部	水産業振興課	170,700	事業概要 漁業近代化資金貸付に伴う利子補給等 事業実績 漁業近代化資金について、令和3年度は58件・約10億円の融資に対する利子補給など約7,000万円の利子補給を行い、金利負担軽減を図ったことをはじめ、各種水産関係制度資金により漁業者等の経営を支援した。
34	新たなみやぎの水産業を創造する人材・経営体育成事業	水産林政部	水産業振興課	27,509	事業概要 新規漁業就業者の確保及び漁業経営体の育成等 事業実績 漁業就業のワンストップ窓口で54件の相談を受けた。また、漁業研修を開催し、参加者15人中5人が就業したほか、就業フェアを2回開催した。経営高度化を進めるため、法人漁業者と専門家による座談会を実施した。
35	子ども食堂を通じた魚食普及活動支援事業	水産林政部	水産業振興課	218	事業概要 子ども食堂への食材提供及び魚食普及活動に対する支援 事業実績 コロナ禍により子ども食堂での食材調理が難しいため、加工組合8団体に対し、調理済食品を提供可能な水産加工業者等の掘り起こしを行い、魚食普及を進めたい業者の情報を子ども食堂に提供、マッチング支援を進めた。
36	森林整備担い手対策事業	水産林政部	林業振興課	4,266	事業概要 みやぎ林業活性化基金への助成等 事業実績 林業退職金共済509人の掛金に対し助成を行い、林業労働者の福祉向上に寄与した。
37	「みやぎの里山」ビジネス推進事業	水産林政部	林業振興課	8,458	事業概要 林業の新規就労者確保対策への支援 事業実績 県独自の就業対策として、山仕事ガイドンスを3回実施し(参加者31人)、多様な担い手の確保・育成を推進した。
38	林業新規就業者確保対策事業	水産林政部	林業振興課	3,918	事業概要 林業の新規就労者確保対策への支援 事業実績 就業のための資格取得・就業訓練のため、転職希望者向け技術習得講習会を開催し(参加者14人)、4人の就業先が決定した。
39	みやぎ森林・林業未来創造カレッジ設立・運営事業	水産林政部	林業振興課	7,008	事業概要 林業の新規就労者確保対策への支援 事業実績 みやぎ森林・林業未来創造カレッジにおいて、プレ開校として4つの講座(受講者40人)を開催するとともに、開講イベント(参加者397人)を実施することで、次年度の本格開校への機運の醸成を図った。
40	建設産業振興支援事業	土木部	事業管理課	649	事業概要 みやぎ建設産業振興プランに基づく担い手の確保・育成等 事業実績 高校生と若手技術者との意見交換会を昨年比1校増の4校で開催したほか、小学生と保護者の現場見学会やコロナ禍により中止となったイベントの代替として開催したパネル展等により、建設産業に対する理解醸成が図られた。
推進事業決算(見込)額合計				99,306,292	

評価対象年度	令和3年度
--------	-------

# 施策評価シート

政策	産業人材の育成と産業基盤の活用によって持続的な成長の基礎をつくる
----	----------------------------------

施策番号	5	施策名	時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用
------	---	-----	-------------------------------

施策担当課室	総合政策課
--------	-------

目指す宮城の姿(施策目標)	<p>①震災復興を経て機能が向上した空港や港湾・漁港、道路、農地、森林等を始めとする産業基盤が、各産業のニーズの反映や先進的技術の導入などによって更に整備・機能強化されることで、その価値が高まっています。</p> <p>②東北各県が連携し、圏域内の経済や交流が活性化され、各産業の高付加価値化や交流人口の拡大が進むことで、東北が自立的に発展しています。</p>
---------------	--

実現に向けた方向性	<p>◇各産業技術のイノベーションや変化するニーズに対応するため、AIやIoTといった先進的技術も活用しながら、生産・物流・交流の基盤を整備・機能強化し、更なる地域経済の発展を促進します。</p> <p>◇ものづくりや農林水産業、観光業といった様々な分野において、震災からの復興を契機に整備された産業基盤等を有効活用し、民間の活力も最大限に生かしながら、地域産業の活性化を図ります。</p> <p>◇東北内における産業基盤の機能分担や、官民による東北の連携を更に促進し、東北のゲートウェイ機能を一層強化することで、各産業の高付加価値化や人材の確保、交流人口の拡大を図ります。</p>
-----------	---

決算(見込)額(千円)	年度	令和3年度(決算(見込)額)	令和4年度(決算(見込)額)	令和5年度(決算(見込)額)	令和6年度(決算(見込)額)
	県事業費	28,868,530千円			

目標指標		達成状況 (達成率は初期値から目標値までの進捗割合を示したもの)			
		初期値(設定年度)	実績値(測定年度)	目標値(令和6年度)	達成率
31	スマートインターチェンジ等の設置数(箇所)[累計]	7箇所(令和2年度)	7箇所(令和3年度)	8箇所	0.0%
32	仙台塩釜港(仙台港区)におけるコンテナ貨物の取扱量(実入)(万TEU)	19.7(令和元年)	18.3(令和3年)	19.7	92.9%
33	仙台塩釜港(仙台港区)の取扱貨物量(コンテナ貨物を除く)(万トン)	3,330万トン(令和元年)	2,952万トン(令和3年)	3,330万トン	88.6%
34	仙台空港乗降客数(万人)	371.8万人(令和元年度)	165.0万人(令和3年度)	371.8万人	44.4%
35	仙台空港国際線乗降客数(万人)	37.9万人(令和元年度)	0.0万人(令和2年度)	37.9万人	0.0%
36	東北6県及び新潟県の延べ宿泊者数(万人泊)	4,294万人泊(令和元年)	2,827万人泊(令和2年)	3,835万人泊	73.7%

施策の成果の検証				
県民意識	本政策において優先すべきと思うテーマ	⑤生産・物流・交流基盤の機能強化	21.5%	2位
		⑥産業基盤の有効活用	10.6%	4位
		⑦東北のゲートウェイ機能の強化	8.2%	5位
施策の成果	<p>◇生産・物流・交流基盤の機能強化については、産学官17組織がコンソーシアムを組成し、パブリカを対象とするスマート農業技術の開発・実証プロジェクトに取り組むなど、AI、IoT等先進技術を活用した農業のDX化を推進した。</p> <p>◇令和5年度の閉鎖循環式陸上養殖研究施設の運用開始に向けた設計を進め、災害や気候変動リスクにも対応可能な水産業の構築のための基盤整備を推進した。</p> <p>◇産業基盤の有効活用については、みやぎ県北高速幹線道路Ⅲ期（佐沼工区）3.6kmの供用を開始し、同幹線道路18.9kmが全線開通した。これにより、同じく全線開通した三陸自動車道とあわせて、沿岸部と内陸部を結ぶ信頼性の高い広域道路ネットワークが形成され、県北地域の産業・観光振興、地域医療支援等への効果が期待される。</p> <p>◇仙台塩釜港（仙台港区）と上海（中国）とを結ぶ航路が香港・ハイフォン（ベトナム）に延伸され、宮城・東北の事業者の東南アジアにおける国際競争力の向上に寄与した。</p> <p>◇東北のゲートウェイ機能については、運用時間の24時間化が可能となったことの強みを活かしたエアポートセールスを展開することで、仙台・愛媛（松山）線の拡充など事業者による需要回復・発掘に向けた様々な創意工夫を誘引し、その強化を図った。</p>			

施策を推進する上での課題と対応方針	
施策の課題	課題解決に向けた対応方針
<p>・港湾利用について、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による一時的な落ち込みが見られる中において、影響収束後の需要の取り込みに向けた対応が急務である。</p> <p>・空港利用について、新型コロナウイルス感染症の世界的流行の影響による利用率低迷が続く中、運用時間の24時間化が可能となったことの強みを活かして旅客需要の回復に努めつつ、世界的な港湾物流輸送の混乱によりニーズが高まる貨物需要の取り込みに向けた取組を検討する必要がある。</p> <p>・交流人口について、新型コロナウイルス感染症の世界的流行による行動制限下の移動控えが続く中において、影響収束後に宮城・東北が選ばれる地域になるよう、他地域に先行した戦略的取組が必要である。</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症収束後の実需の回復とそれに伴うコンテナ貨物の増大及び船舶の大型化への対応を見据え、仙台塩釜港（仙台港区）において、新たな大水深岸壁や空コンテナゲート等の整備を促進するなど高砂コンテナターミナルの拡張整備を推進する。</p> <p>・宮城・東北の事業者の潜在的貨物需要の掘り起こしと航空各社やフォワーダーに対する仙台空港活用の働きかけとを両輪として、航空貨物取扱量の増加に向けて取り組む。また、各種メディア等を活用したPRやLCCと連携した需要創出事業の実施など、旅客数増加に向けた取組を引き続き推進する。</p> <p>・震災伝承、自然、歴史、文化等、宮城・東北ならではの観光コンテンツの磨き上げやイベントの開催等のプロモーション活動に取り組む。また、外部人材を巻き込んだ地域コミュニティの維持・地域活性化のため「関係人口」への戦略的アプローチの取組を推進する。</p>

施策目標に対する成果の検証	目指す宮城の姿に対する成果		項目ごとの評価
	①	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済先行きの不透明感等から実需が追いついておらず、価値創出に十分に結びついていない側面があるものの、各種産業基盤の整備については一定の進捗が認められる。	概ね順調
	②	新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において交流人口の拡大等については一定の制約がある状況ではあるが、ポストコロナを見据えた広域連携の実績を着実に積み上げており、中長期的には指数の改善が見込まれる。	概ね順調
	【評価のまとめ】		
<p>県民が重視する空港や港湾・漁港、道路、農地、森林等を始めとする産業基盤の整備についても一定の進捗が認められることに加え、東北をはじめとする広域連携について確実に実績を積み上げており、ポストコロナに向けた圏域内経済や交流の活性化の基盤が形成されてきていることから、総合的に本施策を「概ね順調」と評価した。</p>			
成果の検証を踏まえた評価原案		概ね順調	

時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算額 (千円)	事業概要及び実績
1	地域連携推進事業	企画部	総合政策課	20,950	<p>事業概要 他県連携, ILC推進, 東北ハウスの実施等</p> <p>事業実績 東北・新潟の官民が連携して情報発信拠点事業「東北ハウス」を実施し, 約25万人が来場した。また, 山形県との共同事業の実施や岩手県とのILC共同誘致等により, 連携の更なる深化を推進した。</p>
2	水産物供給基盤機能保全事業	水産林政部	漁港復興推進室	1,554,901	<p>事業概要 漁港施設の機能診断, 機能保全工事等</p> <p>事業実績 石巻漁港において, 岸壁の機能診断を行い, 健全度Aという結果だった。それに伴い, 漁港施設の機能保全工事を実施し, 鋼構造物の耐用年数が50年となったことで, 施設の長寿命化が図られた。</p>
3	農林水産金融対策事業(林業)	水産林政部	林業振興課	163,000	<p>事業概要 国産材関連事業者等への融資制度(参考:R2.5補.生活応援緊急資金預託金)</p> <p>事業実績 木材産業事業者に対して, 運転資金として木材産業等高度化推進金を6者へ融資し, 木材供給の円滑化及び効率的かつ安定的な林業経営の育成を図った。</p>
4	交通安全施設等整備事業	土木部	道路課	1,558,168	<p>事業概要 歩道整備や交差点改良等</p> <p>事業実績 交通安全プログラムなどに基づき31箇所の歩道整備や交差点改良等を実施し, 快適な歩行空間を整備し児童等の安全確保が図られた。</p>
5	道路改築事業	土木部	道路課	20,498,898	<p>事業概要 道路拡幅やバイパス整備等</p> <p>事業実績 18箇所の道路整備が完了したことで, 社会資本の骨格として, 災害に強く, 富県躍進や地域生活を支える道づくり等が推進された。</p>
6	雪寒事業	土木部	道路課	149,824	<p>事業概要 雪崩対策や消雪施設整備等</p> <p>事業実績 雪崩発生リスクの高い2箇所の雪崩対策及び老朽化した2箇所の消雪施設修繕を実施し, 冬期間交通の安全性向上につながった。</p>
7	港湾整備事業	土木部	港湾課	2,793,307	<p>事業概要 港湾整備</p> <p>事業実績 仙台塩釜港(仙台港区)において, 新たな大水深岸壁や空コンテナゲート等の整備を促進するなど, 船舶の大型化やコンテナ貨物の増大に対応するため, 高砂コンテナターミナルの拡張整備を推進した。</p>
8	港湾整備事業(政策課題枠以外)	土木部	港湾課	895,004	<p>事業概要 港湾施設の管理運営</p> <p>事業実績 港湾施設の適正利用のため, 土砂等で埋塞した航路・泊地の浚渫や損傷した港湾施設修繕等を実施したことで, 本来の機能を確保でき, 計画的な施設管理・運営の強化を推進した。</p>
9	港湾利用促進事業	土木部	港湾課	3,888	<p>事業概要 貨物取扱量の拡大等</p> <p>事業実績 集貨促進や新規航路誘致及び定期航路の維持に向けて, 企業訪問などのポートセールスを実施し, 仙台塩釜港の貨物取扱量増加に向けた取り組みを推進した。</p>
10	クルーズ船受入促進事業	土木部	港湾課	150	<p>事業概要 大型クルーズ船の受入環境整備</p> <p>事業実績 石巻港大型客船誘致協議会と連携して, クルーズ船社3者へ共同ポートセールスを実施し, クルーズ船の県内寄港に向けた取り組みを推進した。</p>

No	推進事業名	担当部	担当課室	決算額 (千円)	事業概要及び実績
11	仙台空港利用促進加速事業	土木部	空港臨空地域課	1,224,070	<p>事業概要 仙台空港の利用促進</p> <p>事業実績 空港周辺地域における生活環境改善事業のうち、名取・岩沼両市が行う事業について「仙台空港周辺環境整備交付金」などを交付した。また、メディアを活用したPRなどを実施し、旅客数増加に向けた取組を推進した。</p>
12	「産業振興による雇用」のための交通環境整備事業	警察本部	交通規制課	6,370	<p>事業概要 新規開発工業団地等における交通安全施設の整備</p> <p>事業実績 柴田町内の工業団地周辺道路に交通信号機1基を設置し、道路交通の安全と円滑を確保した。</p>
推進事業決算(見込)額合計				28,868,530	